
2008年度 第4回 音環境運営委員会 議事録

記録:坂本

- A. 日 時 2008年11月27日(木) 17時10分～19時00分
- B. 場 所 建築学会会議室#202
- C. 出席者 赤尾伸一、岩瀬昭雄、稲留康一(井上勝夫代理)、大鶴 徹、河井康人、岸永伸二、古賀貴士、坂本慎一、佐久間哲哉、田端 淳、中澤真司、濱田幸雄、平松友孝、安岡博人、吉村純一(敬称略)
- 欠席者 安藤 啓、佐藤史明、福地智子、吉久光一(敬称略)
- D. 提出資料
- No.4-0 2008年度 第3回音環境運営委員会議事録(案)(田端)
- No.4-1 2009年度委員会活動計画案(大鶴)
- No.4-2 調査研究委員会主催 催し物(大鶴)
- No.4-3 第63回音シンポジウム「建築部位音響性能の数値シミュレーション」(大鶴)
- No.4-4 建築音響研究会、今後の予定(佐藤)
- E. 審議事項
1. 前回議事録確認(資料No.4-0)
 - ・ 承認された。
 - ・ 優秀卒業論文賞選定委員は、メール審議の上、音環境から高橋先生(京都大)を推薦した。
 2. 環境工学本委員会(2008.11.27)報告(大鶴主査)
 - ・ 優秀卒業論文賞選定委員 音・振動から高橋大弐先生(京都大)、心理生理から合掌頭氏を推薦。
 - ・ 竹中育英会建築研究助成交付者一覧 環境工学から3件採択された。
 - ・ 競争的研究資金への応募に伴う規程変更 競争的研究資金に学会委員会等組織で応募する場合、学術委員会での承認が必要となった。応募の際は事務局へ連絡のこと。
 - ・ 2009年度大会開催日程・会場について 耐震改修の事情で会場が東北学院大学泉キャンパスに、日程が8月26日(水)～29日(土)に変更となった。
 - ・ 環境工学実験用教材 今後、全体を通した査読が行われる予定。
 - ・ 建築環境工学用教材(環境編・設備編) 執筆者が決定し、学会より依頼がなされた。
 - ・ 2006年開始特別研究委員会設置提案書 「深刻化する地球環境問題への対策・適応のための建築・都市環境将来モデル」が提案された。
 - ・ 大賞業績候補者推薦について 環境工学から木村翔先生を推薦することとなった。
 - ・ 文化賞業績候補について 2名の推薦があったが、環境工学より飯田亮(セコム最高顧問)を推薦することとなった。推薦理由は「安全・安心を対象とする研究助成を創設し、30年にわたり建築・都市の安全に関する研究者を育成してきた功績」
 - ・ 各種委員会委員推薦-学会賞論文部会委員 1月10日締め切り。目安として、学会賞受賞者で受賞後4、5年たった方を推薦する。ただし今回の推薦の有無については、各委員会の判断に委ねられている。
 - ・ 各種委員会委員推薦-奨励賞委員 1月10日締め切り。音、心理生理から一人ずつ推薦する。音環境より、濱田幸雄先生を推薦することとした。
 - ・ 来年度大会OS(案) 音環境から、「床衝撃音の評価方法」を提案した。
 - ・ 研究協議会 高齢社会の環境・設備-ユニバーサルデザインに向けて- (仮) 発言者等を東北関係者で構成している。音環境から佐藤洋(産総研)氏。
 - ・ 研究懇談会 建築環境のシミュレーション技術と将来展望 とりまとめを久野先生が担当。計算機利用が趣旨ではあるが、大規模な計測システムの内容も可。音環境からのスピーカを数値解析小委員会で検討する。
 - ・ 総合論文誌第9号の企画テーマ推薦 2月20日締め切り。従来は編集委員会で議論・決定していたが、今回から企画テーマをオープンに募集することとなった。企画内容は非常に盛り沢山なようなので、応募する際は熟慮してほしい。
 - ・ 企画刊行運営委員会より 刊行物をもとに講習会を行う場合、刊行物出版と講習会開催が同一年度

である必要がある。計画の際に注意してほしい。

- 2月に実施予定の委員会自己評価には、活動成果をランク評価する項目があるが、Cランクとすると次年度の対応策が必要となるので注意すること。
- 2009年度大会 日程が当初と変更になったため、照明学会（北海道大学）との日程重複（2日、3日目）の問題が発生している。
- 大学院の建築士資格要件についてアンケート調査を行ったが、回収率が低かった。インターンシップが必須となったことについて、特に地方大学では、受け入れ先の確保ができない等の困難が予想される。このような問題に対する問題提起が目的であるので、大学としての対応状況を正直かつ具体的に回答願いたい。

3. 2009年度委員会活動計画案（大鶴主査）

- 運営委員会に企画・広報WG（継続）、アカデミックスタンダードWG（新規）を置く。
- 固体音小委員会、室内音響小委員会、建築音響測定法小委員会では主査が交替する。
- 都市・建築空間における音声伝送品質評価規準刊行小委員会 2年で刊行予定。講習会まで2年で行う必要があることに注意。
- 音環境の数値シミュレーション刊行小委員会 2年間で刊行予定。

4. 小委員会活動報告

固体音小委員会（平松主査）

- 聴感評価実験に用いる試験音の物理量に関する検討を行った。
- 第64回音シンポジウム「床衝撃音の測定・評価方法」（2009年3月19日）を計画しており、ボールを用いた評価法の検討結果を報告する予定である。諸々事情により開催日程が音響学会と重複してしまった。ついては、音響学会における床衝撃音関連を3月19日からはずす等、セッション構成に配慮をお願いしたい。

集合住宅の遮音性能評価水準検討小委員会（濱田主査）

- 10月3日に開催。裁判における判例に関する資料を検討した。次回は赤本改定案について討議する。
- 10月23日に開催。11月9日に実騒音（鉄道騒音）を用いた短時間遮音測定に関する合同測定を行った。シンポジウム「床衝撃音の測定・評価方法」では測定法に関する発表を1件行う予定である。

室内音響小委員会（岸永主査）

- 第65回音シンポジウム「室内音響における“拡散”研究の最近の動向と今後の課題」（2009年3月27日）の詳細を議論し、決定した。第一部・研究発表（資料作成）、第二部・シンポジウム（資料未定）の2部構成で、建築会館ホールで開催する。
- 音声伝送品質設計・評価指針作成WGでは3月開催予定のシンポジウム「室内音響における“拡散”研究の最近の動向と今後の展開」にむけて集中審議（長野）を予定。
- スピーチプライバシー研究WG 3月音響学会で調査結果を発表する予定。次年度は委員の交替（公募）を含め、WGの再構成を予定している。
- 音響指標測定研究WG カザルスホールでの合同測定の結果を再整理している。次年度はWGの体制を見直す予定。

音響数値解析小委員会（佐久間主査）

- 第63回音シンポジウム「建築部位音響性能の数値シミュレーション」（2009年2月27日）を計画している。前半を総論、後半を事例報告として構成する。

企画・広報WG（大鶴委員）

- アカデミックスタンダード小委員会からの依頼事項であるマトリックスの再検討を、他分野の作成動向の確認も含めて行った。音環境では無駄なアカスタは作っていないので、フォーマット等を幹事側で調整し、議論を継続する。

5. 他学会の予定

建築音響研究会 1/23 新潟（騒音振動研究会と合同）、2/27 建築会館（第63回音シンポジウム）、3/11 浜松、3/27 建築会館（第65回音シンポジウム）

騒音振動研究会 1/23 新潟（建築音響研究会と合同）、2/20 沖縄、3/6 東京

6. その他

次期音環境運営委員会の体制について大鶴主査より意向が述べられた。

7. 次回の予定

- 次回は2009年1月20日(火)17:00～ 建築会館会議室

2008年度 音環境運営委員会予定		
第1回	2008.5.20(火)	実施
第2回	2008.7.25(金)	実施
第3回	2008.9.26(金)	実施
第4回	2008.11.27(木)	実施
第5回	2009.1.20(火)	(決定)
第6回	2009.3.16(月)	